化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版A

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 22.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 5.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 9.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版B

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 15.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 19.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 10.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 15.3 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版C

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 0.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.4 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 1.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版D

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.7 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 24 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 22 g と結びつく酸素は何 g か。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 20.8 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版E

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 14 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.3 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 13.8 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版F

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 17.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.4 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.4 g と結びつく酸素は何 g か。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.7 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版G

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 11.7 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 10.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 19.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 15.6 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 17.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 11.2 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版H

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 2 g と結びつく酸素は何 g か。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 1.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 16 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.4 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版I

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 16 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 0.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6.8 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 21.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.6 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 13.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 13.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 17.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版J

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／10問

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 0.6 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 9.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 21.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 1.2 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 3.6 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Aの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 28 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 19.5 g

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 22.8 g と結びつく酸素は何 g か。

= 5.7 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 7.5 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 5.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 7 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。

= 3.6 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

= 4.6 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 29.5 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 9.2 g と結びつく酸素は何 g か。

= 2.3 g

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12 g と結びつく酸素は何 g か。

= 3 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Bの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 24.5 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 15.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 26 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 14.4 g と結びつく酸素は何 g か。

= 9.6 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.1 g と結びつく酸素は何 g か。

= 1.4 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 8 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。

= 0.3 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 19.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 24.5 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 10.8 g と結びつく酸素は何 g か。

= 7.2 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 15.3 g と結びつく酸素は何 g か。

= 10.2 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 3.5 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Cの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3.4 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 0.8 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.2 g

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.8 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.2 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 22 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 27.5 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 8 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.4 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 29 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.5 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 7.5 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.6 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 1.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 3 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Dの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.7 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 11.8 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 8.4 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 10.5 g

(3) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 24 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 6 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 5.1 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3.4 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 22 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 5.5 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 11 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12.4 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 15.5 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 20.8 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 26 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 23.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 29 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.6 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Eの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

= 8.6 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 16 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 4.5 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

= 2.2 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6.4 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 8 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 27.5 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 14 g と結びつく酸素は何 g か。

= 3.5 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 23.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 29 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.3 g と結びつく酸素は何 g か。

= 4.2 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 13.8 g と結びつく酸素は何 g か。

= 9.2 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Fの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 17.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 22 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 3.5 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.4 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 19 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12.8 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3.2 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.4 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 1.6 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 6 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 5 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 16 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.8 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.7 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 1.8 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Gの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.7 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 7.8 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 15 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 10.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 18 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 19.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 24.5 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 5 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 8 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 15.6 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 10.4 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 17.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 21.5 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 5 g

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 11.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.8 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Hの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 5 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 2 g と結びつく酸素は何 g か。

= 0.5 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 27.5 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。

= 3 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 1.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 1.5 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

= 24.5 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 14.1 g と結びつく酸素は何 g か。

= 9.4 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 16 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

= 20 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

= 4.6 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.4 g と結びつく酸素は何 g か。

= 11.6 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Iの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.8 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 16 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 20 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 0.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.6 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6.8 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 8.5 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 21.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 27 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.6 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 4.4 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 13.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3.3 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 13.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 17 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 17.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 22 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 5 g

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Jの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 4.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 8 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 0.6 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.4 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 9.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 11.5 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 23.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 29 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 21.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 5.3 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 16 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 1.2 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 2 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 8.6 g

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 3.6 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 0.9 g